

ピース集会&パレード@和泉
9月13日(日)16時榎尾川公園集合
～和泉市役所までパレード(17時解散)～
泉北地区教組の皆さんも一緒にです。

泉北教育

NO.2016 2015.9.7.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

「和泉市適正就学対策審議会」が答申 南松尾小・中を新設一貫校に統合

9月1日に開催された「平成27年度第3回和泉市適正就学対策審議会」で、左記のような答申が出されました。

地域から学校が 無くなる

南松尾小・中学校について答申の内容は、市教委が「最も望ましい」とする「小学校・中学校ともに新設小中一貫校へ移転統合する」内容になっています。南松尾校区連合町会・両校PTAとも「納得した」とのことですが、市教委が実施した保護者アンケート

の内容から、「できれば残してほしい」との願いが読み取れます。

「少人数のデメリットとして『切磋琢磨する機会が少ない』ということが挙げられていましたが、南松尾で学んだこれまでの卒業生も、他の学校の子もたちと同様にみな立派に成長しています。少人数だからこそ、強い絆で互いに刺激し合い、励まし合えることもあったと思います。」

「小規模校では、子どもたちの競争力の欠如、学力低下、集団生活への対応力など問題点として出されることがありますが、南松尾校

区の子どもたちは著しくそれらの点について欠如しているとは思えません。私も息子も高校から大人数でした。少なくとも私の周りでは高校に行つて困っているというのはいないことはいけません。」

いずれも「統合やむなし」を選択した方の意見です。財政効率最優先で、地域から学校を無くしてしまつて本当にいいのでしょうか。

同じ頃、市教委は南松尾校区の説明会で、統廃合は考えていないと説明していましたが、一年後には、統廃合に向けての動きが始まつたのです。

小中一貫は 統廃合のツール

次は榎尾中校区と 富秋中校区

校区への説明とは逆に、和泉市役所内の会議(2013年1月)で市教委は、「南松尾地域を新設の校区に編入することは、適正規模での教育という観点から適した対応であると考えます。」と表明し、さらに「今後の施設一体型の小中一貫校については、小中学校の児童生徒数の減少となる地域においても検討する」とし、具体的に榎尾中

校区、富秋中校区をあげて

いることを泉北教組等は宣伝してきました。(2013年9月発行ビラ)

南松尾校区の新設統合が答申された今、次は榎尾中校区や富秋中校区が学校統廃合の対象とされる可能性が高くなってきました。

市教委は一応「地域からの同意を得たい。」とし、「保護者、地域住民の理解が得られる」ことを、統廃合の条件にあげています。

私たちは、小規模校の少人数教育のメリットや地域から学校が無くなることのデメリットを地域住民や保護者の皆さんに訴え、財政効率優先の学校統廃合に反対していきます。

答申(2015年9月1日)

1. はつが野地区における新設小中一貫校の就学区域についてはつが野四丁目、はつが野五丁目、はつが野六丁目、春木川町、若樫町、久井町、春木町、松尾寺町、テクノステージ二丁目、テクノステージ三丁目とする。

2. 南松尾小学校・南松尾中学校の今後のあり方について

上記新設小中一貫校に学校統合する。

ただし、学校統合することにより、児童・生徒の安全な通学について配慮する必要がある。



施設一体型小中一貫校 市民学習会
全国に成功例なし?!
都市部学校の統廃合ツール

「先進」でも「後進」でも
成功例なし?!

①



和泉市の小中一貫校建設
ねらいは 学校統廃合

会議資料から明らかに 南松尾小・中学校は閉校し、新設校に集入

児童・生徒数減少地域には小中一貫校

②

「戦争法」反対。教え子を再び戦場に送るな。